



本校の使命

本校は国立大学法人に基づいて大分大学教育学部に設置された学校であり、次の使命を持つ。

- 1 知的に障がいのある児童生徒を対象に教育を行い、個々の能力を伸ばし、自立への意欲を育て社会生活の適応を高める。
- 2 大学教員や学生の教育研究に協力するとともに、教育実習の指導にあたる。
- 3 特別支援教育について、理論的、実証的研究を推進するとともに、地域の障がいのある幼児児童生徒やその保護者及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校への支援の充実に努める。

学校教育目標

豊かに人や社会と交わり、自ら進んで取り組み、自己表現できる子どもの育成

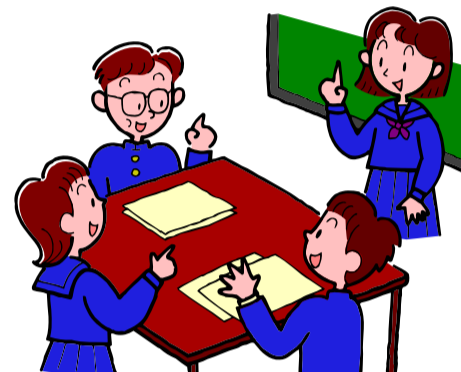
めざす子ども像



やさしく
明るい
元気が
なく

自分で
進んで
取り組
み
自己表
現でき
る子

豊かに
人や社
会と交
わられ
る子



本年度の重点目標

1. 子どもの活動参加への意欲を高める授業づくりの更なる深化

（達成批評）

- 保護者及び学校評議員への授業に関する評価アンケートで3以上の回答が100%

〈設問内容〉

- ①『児童生徒は意欲的に学習に参加している』
- ②『意欲的な学習に向けての教材・教具の工夫がなされていたか』

*アンケートは4段階

3…「よい(そう思う)」

4…「たいへんよい(大いにそう思う)」

2. 地域・大学及び関係機関との連携

（達成批評）

- 実地研修参加者への評価アンケートで3以上が80%

〈設問内容〉

『専門性を高める上で有意義な研修であったか』

*アンケートは4段階

3…「よい(そう思う)」

4…「たいへんよい(大いにそう思う)」

- 教員・対象者・学校評議員への評価アンケートで3以上が80%以上

〈設問内容〉

『研究や授業実践の成果が地域に発信されているか』

*アンケートは4段階

3…「よい(そう思う)」

4…「たいへんよい(大いにそう思う)」

本年度の重点的取組

- 授業構想シートの活用

- 中堅教員の研究授業の充実

- 年間指導計画及び個別の指導計画の見直し

- 個別の指導計画の作成の手順の見直し

- 特別支援教育担当教員実地研修の円滑な実施

- 教育実習の円滑な実施

本年度の重点的指標

- 活用研修の実施
- 実践事例集の作成

- 公開授業の実施

- 新学習指導要領を反映させた本校の指導内容の検証

- カリキュラム・マネジメントの実施

- 県教育委員会との事前打ち合わせ

- 研究授業及び事後の授業研究会の実施

- 大学と教育実習の内容の共通認識化

- 教育実習実施に関する教職員研修の実施

2020年度 本校の研究

- ① 「活動に意欲的に取り組むための授業づくり」の深化（一人一実践の充実）
- ② 年間の子どもの高まりを見据えた個別の指導計画作成の手順と条件の完成
- ③ 新学習指導要領実施に向けた取り組み